

令和7年度の騒音の状況

1 概要

自動車騒音の状況を把握するため、騒音規制法第 18 条第1項に基づき市内主要幹線道路の常時監視を行っています。

2 常時監視の対象路線

2車線以上を有する国道、府道、市道（市道については、原則として4車線以上を有する道路）を対象としています。

市内 18 路線を5年間で調査しており、令和7年度は表1に示す路線を対象に調査を行いました。

表1: 調査対象路線一覧

No	路線名 [併設道路]	センサス区間番号	騒音調査地点住所
1	府道 大阪中央環状線 [近畿自動車道]	40190 [180,190]	西岩田 3 丁目 3
2	一般国道 170 号(大阪外環状線)	10890	桜町 1
3	一般国道 308 号 [阪神高速大阪東大阪線]	11400 [5010,5020]	高井田中 5 丁目 3
4	府道 大阪中央環状線 [近畿自動車道]	40200 [170]	三島 3 丁目 18
5	一般国道 170 号(大阪外環状線)	10880	布市町 2 丁目 10
6	一般国道 308 号 [阪神高速大阪東大阪線]	11410	角田 1 丁目 4

3 騒音調査結果

調査地点別の結果は、表2に示すとおりで、調査した6地点のうち、No.1 府道 大阪中央環状線（センサス区間番号 40190）の夜間、No.2, No.5 一般国道 170 号(大阪外環状線)(センサス区間番号 10880、10890)、及び No.3, No.6 一般国道 308 号（センサス区間番号 11400、11410）では昼間・夜間ともに環境基準を超過したが、No.4 府道 大阪中央環状線（セン

サス区間番号 40200) では昼間・夜間ともに、No.1 府道 大阪中央環状線 (センサス区間番号 40190) では昼間のみ環境基準を満足した。

表2:騒音調査結果一覧

	路線名 [併設道路]	調査結果(L _{Aeq})		環境基準		評価	
		[dB]		[dB]		昼間	夜間
		昼間 注)	夜間 注)	昼間 注)	夜間 注)	昼間 注)	夜間 注)
1	府道 大阪中央環状線 [近畿自動車道]	70	66	70	65	適	不適
2	一般国道 170 号(大阪外環状線)	73	70			不適	不適
3	一般国道 308 号 [阪神高速大阪東大阪線]	72	69			不適	不適
4	府道 大阪中央環状線 [近畿自動車道]	67	64			適	適
5	一般国道 170 号(大阪外環状線)	74	70			不適	不適
6	一般国道 308 号 [阪神高速大阪東大阪線]	73	69			不適	不適

注) 昼間は 6 時から 22 時、夜間は 22 時から翌 6 時

4 自動車騒音の評価方法

自動車騒音の評価は、面的評価という方法で行います。面的評価とは、評価区間の道路端から 50メートル以内にあるすべての住居等について、自動車による騒音が環境基準以下である戸数と戸数割合を把握する方法です。

面的評価を行うには、騒音調査のほか道路構造条件や住居の戸数等を把握する必要があり、令和7年度は図1に示す区間で道路調査及び沿道調査を実施しました。

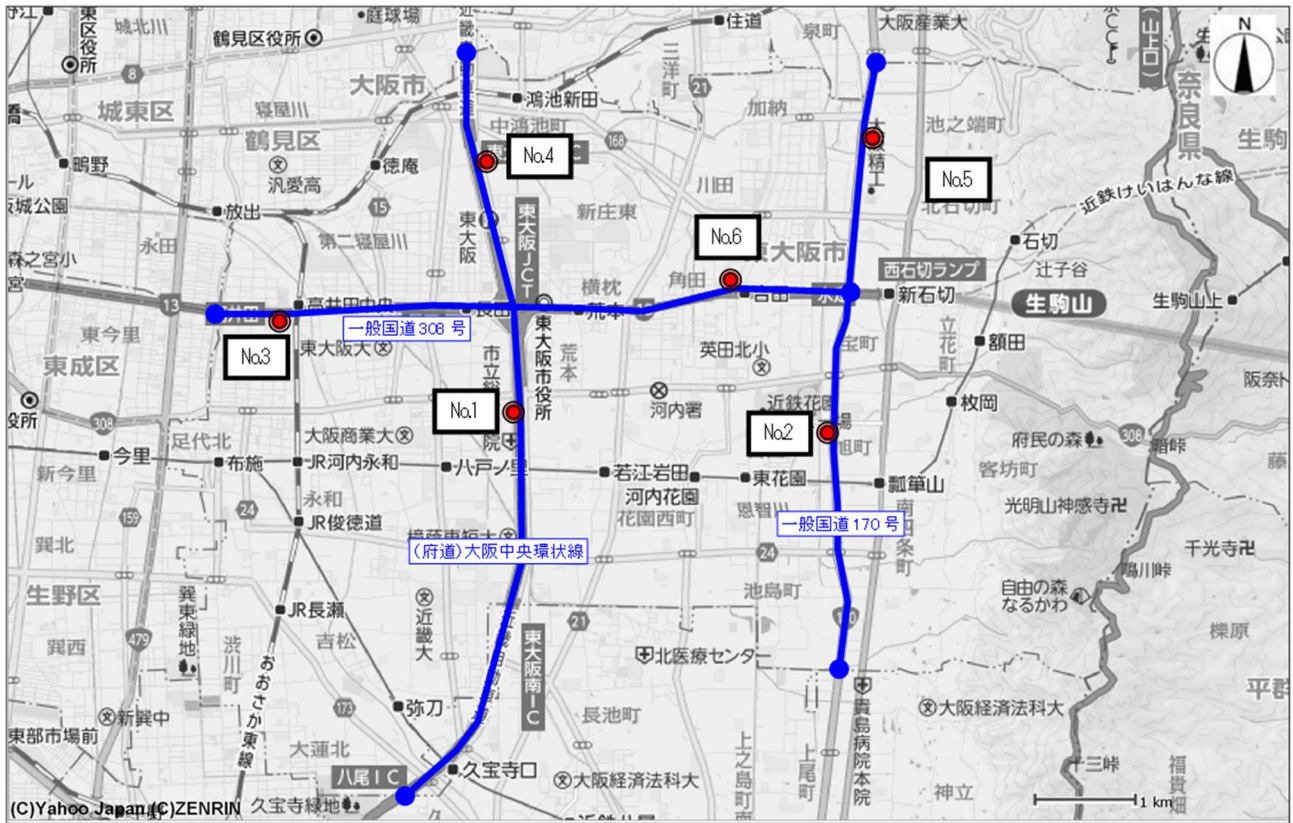


図1：評価対象区間

5 面的評価の結果

市域全体(令和3年度から7年度に調査した18路線)の面的評価結果は表3及び図2に示すとおりで、環境基準達成率(昼間・夜間とも環境基準以下であった住居等の割合)は、全体で96.5%と高い割合を示しました。

近接・非近接空間別では、近接空間で92.5%、非近接空間で98.9%であり、近接空間の環境基準達成率が非近接空間よりも低い値となりました。(近接空間とは、面的評価を行う50mの範囲のうち、2車線以下の幹線道路の場合は道路端から15m、2車線を越える幹線道路の場合は道路端から20mの範囲のことで、非近接空間とは、50mの評価範囲のうち、近接空間以外の場所のことを指します。)

表3: 面的評価結果

項目	面的評価結果(戸数)					面的評価結果(%)				
	評価対象 住居等 戸数	昼間・夜間 とも基準値 以下	昼間のみ 基準値 以下	夜間のみ 基準値 以下	昼間・夜間 とも基準値 超過	評価対象 住居等 戸数	昼間・夜間 とも基準値 以下	昼間のみ 基準値 以下	夜間のみ 基準値 以下	昼間・夜間 とも基準値 超過
	a=b+c+d+e	b	c	d	e	a=b+c+d+e	b	c	d	e
全体	34,982	33,783	159	101	939	100.0	96.5	0.5	0.3	2.7
近接空間	12,687	11,736	108	27	816	100.0	92.5	0.9	0.2	6.4
非近接空間	22,295	22,047	51	74	123	100.0	98.9	0.2	0.3	0.6

注) 2つ以上の評価区間が交差する地域の住居等が重複しないようカウントした戸数を示す。

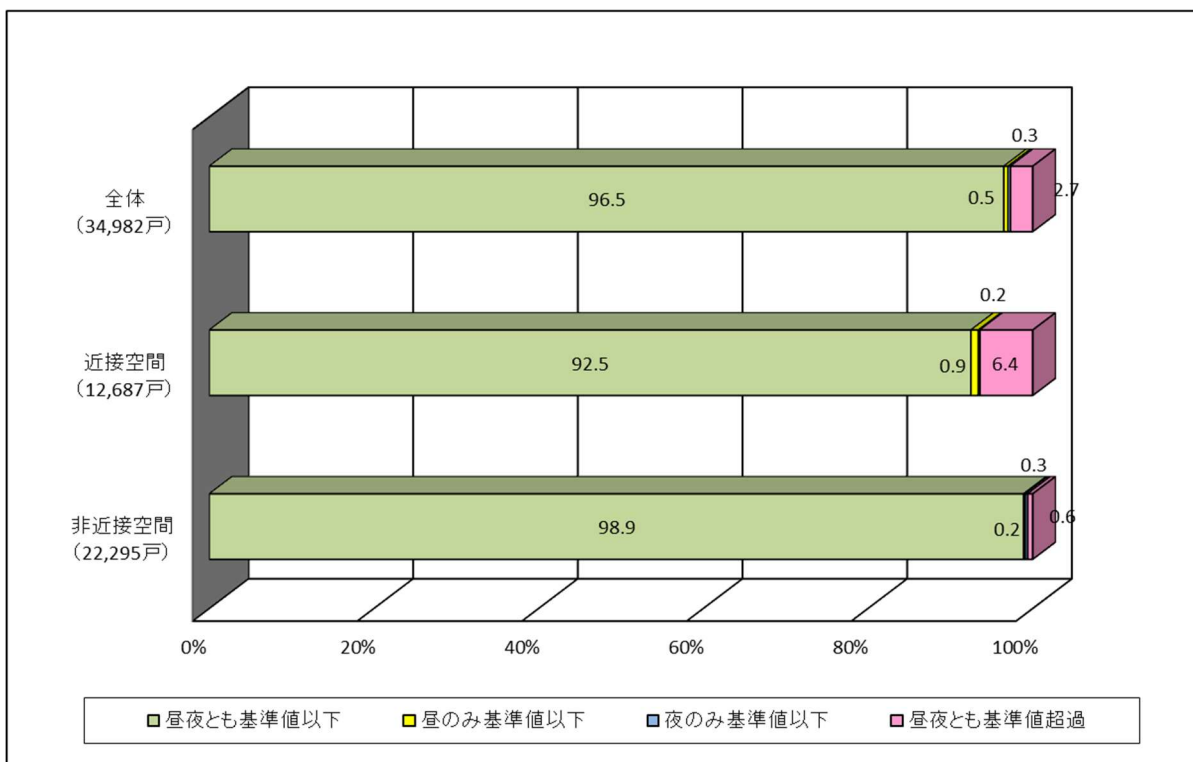


図2: 面的評価結果